

「自分の良いところ」を伸ばしていく ために、まず「自分」を知る

立教池袋中学校・高等学校 教務部長 原 真也 氏に聞く

立教池袋中学校・高等学校の キャリア教育

立教池袋中学の多くの生徒は立教池袋高校に進みますので、中学・高校の6年間を通じていかに自分のキャリアを考えていくかという視野でキャリア教育に取り組んでいます。

VRTは中学3年の時期に実施しています。高校に上がる時の一つのハードルを前にして、中学生生活を振り返るとともに、「将来のことを考える」ことを促すのです。中1、中2は自分の周囲の友達づくり・仲間づくりがメインテーマで、将来のことはまだまだという感じですね。

高校1年では、毎年5月に一週間のキャリア学習プログラムに沿って、職業を通してその人がどんな価値観・人生観をもっているかを感じ、発見するためのイベントを開催します。

その内容は、立教大学の教授による「大学とはこういうもの」という話であったり、専門家から高校時代に準備しておくことのレクチャーを受ける、講演を聴くといったものです。

ほかにはOBや保護者の協力のもとに、自分が就くかもしれない業種・職種に就いている人へインタビューをし、後日、グループごとにプレゼンテーションをして体験を共有するといったものです。

このインタビューは、生徒には得るものが多いと思います。社会のいろ

ろな大人ががんばっているということを知るの、やはり非常に意義が大きいと思いますね。

高校2年では、立教大学全10学部の内容の説明会があります（3年時にもあり）。大学キャンパスで行われ、各自で聞きたい学部に行きます。これ以外の機会でも、オープンキャンパスには積極的に参加するように薦めています。

そして、高校3年になると、希望により大学の講義を受けることができます。受講可能な講義リストが大学からきて、そこから選択しますが、受講すると高校はもちろん、進学後、大学の取得単位にもなります。付属校なので、このように大学の「知の環境」を活用できるメリットがありますね。

生徒はほとんど立大へ進学するので、受験して他大学へ行ったりする選択肢に配慮したプログラム、授業のカリキュラムはありません。センター試験対応や理数系クラスなどのコース制も設けていません。

VRTの活用

VRTは、結果を見て自分で考えることを含め、LHRの時間を3〜4時間使って実施しています。結果については、本校で作成した独自のシートも使って各自考えさせています。さらに、親に結果を見せ、仕事について話し合いの時間を持つように指導します。親は一番身近な人生の先輩ですし、中3くらいの時期は親とあまり話さなく



なったりする生徒も多いので、親子の会話のきっかけとすることもできます。卒業前、高校に進む際に全員と面接します。事前に、「中学3年間で何が一番印象に残っているか」「どこにもっと力を入れればよかったと思うか」「どういう高校生活をしたいか」について文章を書かせて、それを基に面接をしますが、同時にVRTの結果も資料として使っています。

自分の良いところを社会で 発揮するために

この段階では、「仕事」とか「職業」を考えるよりは、「自分を知る」ほうが先ではないかと思います。それは「他者を知る」ことにもつながり、人間関係をつくっていく基礎となります。ですから、グループワークをしながらVRTの結果を周りの人に見せます。自分の結果を「自分はどうか思うか」と同時に「他人はどう思うか」を知るのです。「自分を知る」ためのツールとしてVR



立教池袋中学校・高等学校
所在地●
東京都豊島区西池袋5-16-5
生徒数●
中学:402名、高校:388名
(2011年5月1日現在)
1896年設立。2000年、立
教中学校から中高一貫6年
制の立教池袋中学校・高等
学校となる。「キリスト教

に基づく人間教育」を建学の精神とし、約9割の生徒が推薦により立
教大学に進学する。

「は最適だと思っています。
ただ、結果は現時点のあなたの興味・
関心であって、それで決定してしまう
ものではない、ということを生徒に伝
えることは大切です。成長してい
るな経験をしていけば、興味・関心
が変わってくる可能性もある、人は変
化していくものだ、と。一度動めたら
終身雇用」でなくて、人生を通して「職
業」「仕事」を考えていく時代でもあ
りますし。

でも、やはり検査結果に生徒は一喜
一憂していますね。「これで職業が決
まってしまうのではないか」とか「そ
ちに誘導されていってしまうのでは
ないか」と思ってしまう生徒も中
にはいます。まず、「今の自分を知る」材料

VRT ● Tips

■ J.L.Holland による

職業興味領域 6 つのタイプ

Realistic

現実的職業領域

機械や物体を対象とする具体的で実際の仕事や活動の領域。
この得点の高い人は、次のような傾向を示す可能性が高い。

- ・機械や物に対する関心が高い。
- ・機械を操作したり物を作ったりすることが好きで、
そのような能力に恵まれている。
- ・対人的な仕事をあまり好まない。

●建設機械オペレーター、消防士、建築大工、航空機整備士 等

Conventional

慣習的職業領域

定まった方式や規則、習慣を重視したり、それに従って行
うような仕事や活動の領域。

この得点の高い人は、次のような傾向を示す可能性が高い。

- ・事務的な仕事を好む。
- ・規則や習慣を大切にしている。
- ・自分がリーダーシップをとるより、他の人の指示に従っ
て活動することを好む。
- ・さまざまな状況に対して順応的、協調的である。
- ・几帳面で、粘り強い。

●一般事務員、経理事務員、行政書士、コンピュータ・オペレータ 等

Enterprising

企業的職業領域

企画・立案したり、組織の運営や経営等の仕事や活動の領域。
この得点の高い人は、次のような傾向を示す可能性が高い。

- ・新しい計画を立てたり、事業を企画したり、組織作り
をしたり、組織を動かすような活動を好む。
- ・他の人に従うよりも、自分がリーダーシップをとるこ
とを好む。
- ・積極的で、指導性、社交性に恵まれる。

●会社社長、商店経営者、ホテル支配人、商社営業部員 等

Investigative

研究的職業領域

研究や調査のような研究的、探索的な仕事や活動の領域。

この得点の高い人は、次のような傾向を示す可能性が高い。

- ・抽象概念に強い関心をもつ。
- ・論理的にものごとを考えたり、数理的に処理するこ
とを好む。
- ・人を指導したり、統率したりすることはあまり得意
でない。
- ・ものごとを一人で成し遂げることを好み、グループ
活動をあまり好まない。

●科学研究者、学芸員、化学試験分析員、薬学者 等

Artistic

芸術的職業領域

音楽、美術、文学等を対象とするような仕事や活
動の領域。

この得点の高い人は、次のような傾向を示す可
能性が高い。

- ・音楽、美術、文学等に強い関心をもつ。
- ・独創性や想像性に恵まれる。
- ・規則や習慣よりも自分の感性を大切にする。

●声優、ダンサー、イラストレーター、作曲家 等

Social

社会的職業領域

人と接したり、人に奉仕したりする仕事や活動の領域。

この得点の高い人は、次のような傾向を示す可能性が高い。

- ・人に教えたり、人を援助したりすることに強い関心をもつ。
- ・人と一緒に活動することを好む。
- ・人の気持ちを理解したり、いろいろな人と親しくな
る力に恵まれている。

●介護福祉士、看護師、ホテル・フロント係、カウンセラー 等

の一つとしてのテストであることを生
徒に理解させる必要があります。
高校卒業後すぐに就職という生徒は
ほとんどいないこともあり、あまり「職

業」に偏ったキャリア教育ではなく、
自分の特性を知ったうえで大学に進学
し、さらに自分の良いところを伸ばし
ていけるようになればよいと思ってい

ます。ゆくゆくはそれらを積極的に社
会の中で発揮して社会に貢献できるよ
うになるために。